



教育委員コラム

発行元
弟子屈町教育委員会
委員長 小澤 重
職務代理 榎本 悦子
委員 菅原 誓之
委員 金井 秀明
教育長 小林 俊夫



弟子屈町教育委員会

〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
電話:015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

教育委員リレーコラム

2016年3月5日 弟子屈高校卒業式

委員 金井秀明

「弟子屈町で最大瞬間風速32.9mを観測」。3月1日NHK全国版のニュースで放送されました。この日、弟子屈高校で卒業式が行われるはずでした。しかし発達した低気圧の影響で卒業式の延期が決定されました。前日小中学校の臨時休業は早くに決定されましたが、弟子屈高校は卒業式の延期決定をぎりぎりまで伸ばしていました。この間の校長先生をはじめとす教職員、卒業生、保護者など関係者の方々の中心いかばかりかとお察しいたします。その後5日へ式の延期が決定されました。そして、この決断は大正解でした。1日は午前中から猛吹雪になり、町内のいたるところで道路閉鎖が相次ぎ、国道391号美留和付近では車約20台が一時立往生しました。道教委によると、この日7管内の高校30校が卒業式を延期し、これだけの数の高校が延期したのは近年無いそうです。



さて、3月5日は天気も落ち着き、「第52回弟子屈高等学校卒業証書授与式」が行われました。凜とした空気の中、卒業生43名が緊張した面持ちで入場し、式が始まりました。在校生、保護者、来賓と多くの方々の見守る中、卒業生の名前が呼ばれると壇上で深々と頭を下げ、木村校長から卒業証書を受け取りました。晴れがましくも少し緊張した面持ちで、証書を受け取ってました。私が卒業した時代は卒業生も多く、名前を呼ばれるとその場で起立し、各クラスの代表のみが壇上にて証書を受け取った記憶があります。今年度12名が皆勤賞を受賞しました。3年間休まず学校に通い続ける事は大変であり、素晴らしい事だと思います。また、学業や、スポーツ、文化、ボランティア活動と、皆、色々な場面で輝いてきた事と思います。本人の努力も大変だったでしょうが、裏で支えてくれたご家族への感謝も忘れずにいてください。

卒業式は新たな出発でもあり、43名も進学、就職へと新しい道に進んでいくと思います。これからの人生、晴れの日ばかりでなく、暴風吹き荒れる事もあるでしょう。そんな時は進むだけでなく、休む決断も必要ではないと思います。いずれにせよ、夢に胸膨らむ若人に、幸多かれと願うばかりです。



(次回のリレーコラムは小林教育長です)

教育あっちこっち情報



「弟子屈町スポーツ表彰」

教育委員 金井 秀明

平成27年度弟子屈町スポーツ表彰授賞式が3月17日に行われました。徳永町長、八幡議会議長、高橋体育協会会長など多くの来賓のご臨席を賜り、小澤教育委員会委員長の挨拶で始まりました。今年度はスポーツ賞1名、スポーツ功労賞1名、スポーツ奨励賞で水泳関係5名、陸上関係5名、スポーツ特別賞（障害者スポーツ大会出場）1名の方々が受賞されました。水泳も陸上競技も、個人競技で反復練習が中心になると思います。単調な練習の繰り返しを制した者のみに、勝利の女神が微笑むのではないのでしょうか。また本人の努力のみならず、指導する先生、家族のバックアップ、これらが上手にかみ合っただけの受賞だと思えます。今後さらなる努力が必要ですが、2020年の東京オリンピック、パラリンピックに弟子屈町出身者の出場の夢が膨らみます。



「第69回弟子屈中学校卒業式」

教育委員 菅原 誓之

3月15日、第69回目となる弟子屈中学校卒業証書授与式が挙行された。式では杉山校長より50名の生徒一人ひとりに卒業証書が手渡され、卒業番号までもが呼び上げられた。なぜなら、この卒業式において1万人目となる卒業生がいたからだ。弟子屈中学校の歴史を感じると共に、今後も沢山の卒業生が続くことを願うばかりです。



「素晴らしい演奏！ありがとう！」

教育長 小林 俊夫

3月13日13:00から弟子屈小学校屋内体育館において「弟子屈小学校吹奏楽少年団定期演奏会2016」が開催されました。会場には吹奏楽少年団の保護者の皆さんをはじめ、児童生徒の皆さんや教職員の皆さん、そして弟中吹奏楽部の皆さんも応援に駆け付けていました。

第1部「1年間の活動を振り返る」と題して団員全員で「ひまわりの約束・RPG・負けないで」の3曲を披露。第2部「次年度に向けて～後輩たちのために～」と題して「シエイクイットオフ」の演奏とダンスを披露。二曲目「翼をください」の曲に乗せて会場全員で合唱。三曲目「小さな世界」を披露。次に指揮指導者の加賀谷先生から楽器紹介や団員全員を紹介。第3部「6年生に感謝し卒団を祝う会」と題して、最初に卒団する6年生だけで「ドレミファロンド」を演奏する中で、6年生への感謝の言葉や浜田部長の挨拶がありました。二曲目も6年生の演奏で「プライド革命」を披露、三曲目は3年生から5年生の団員で「小さな恋のうた」を演奏。四曲目は団員全員で「ジブリスタジオ名曲メドレー」を、続いて五曲目は一番練習に打ち込み今年度の集大成とも言える曲「炎の森のカーニバル」を披露。最後に全道大会で発表した「ピレネーを越えて」を披露し、大きな拍手が送られていました。その後アンコールに迎え、「花は咲く」を団員全員が演奏し、来場者全員で合唱して終了しました。演奏会の構成がとても素晴らしく、きっと来場者の皆さんに感動を与えたことと思います。新年度も町民の皆さんに「音楽」の素晴らしさを伝えてほしいと思います。



「川湯小学校読み聞かせも10周年になりました」

委員長職務代理 榎本 悦子

川湯小学校の読み聞かせも10周年を迎え、今年度最後の読み聞かせは、道新の取材もありました。この日は読み聞かせの会「お話たまたまこ」の伊藤さん・川窪さん・横田さん・原田さんと私が参加しました。月に一度集まって、伊藤さんが探してくれたたくさんの本のなかから、翌月読む本と読み手とを決めています。朝の15分間なので、2～3冊のお話ですが、その日のスタートに子供の世界を少しでも広げられたら、と思っ



「川湯中学校卒業式」

教育委員長 小澤 重

平成28年3月15日、式の参加者を迎える教室前広場には、「川湯中学校校舎」のモザイク模様モニュメントが歓迎！！

そして第69回の卒業式を待つ体育館は、緊張感ある静けさで卒業生の入場を待っていました。

拍手の中入場した6名の卒業生は、凛々しくとてもさわやかに武山校長先生の式辞そして、榎本委員長職務代理者さんと戸田PTA会長様の祝辞を聞き入っていたのが印象的でした。卒業生の皆さん並びに保護者の皆様、川湯中学校ご卒業おめでとうございます。

在校生代表の送辞、さわやかな卒業生代表の答辞。保護者の皆様と校長先生や来賓の皆様・地域の皆様の温かい眼差しと心を込めた拍手が会場いっぱいに鳴り響いていました。皆様本当に有難う御座いました。



★ ★ 編集後記 ★ ★

日差しもすっかり春めいて、心地よい季節となりました。卒業、入学・進学や転勤の時期でもあり、転出によって寂しい別れや新たな旅立ちへの別れ、転入によって不安な中での出会いや希望に満ち溢れた出会いと、様々な心境の中のスタートの時。それぞれの立場の方々の前途を祝福しています。（菅原）